

【報道関係者各位】

2026年3月5日

くらしの植物苑 特別企画
季節の伝統植物

伝統の桜草



2026年

4月7日(火)～4月30日(木)

4月29日(水・祝)は歴博みどりの日 入苑無料

国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑(千葉県佐倉市)



このたび、国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑におきまして、2026年4月7日(火)～4月30日(木)の期間、特別企画 季節の伝統植物「伝統の桜草」を開催します。

「伝統の桜草」とは、江戸時代中期以降、園芸家によって野生株の中から変わった花が探し出され、多くの品種が作り出されてきた一連の桜草を指します。くらしの植物苑では、約400種類の品種を育成し、花色・花形の多様な桜草を展示するとともに、2003年に寄贈された桜草花壇による伝統的な観賞方法を再現するなど、展示方法も工夫しています。

また、今年度は「『桜草作傳法』を読む－栽培法を中心に－」をテーマとし、『桜草作傳法』に記されている土の作り方や使用している鉢、栽培エリアなどをパネルで解説いたします。

つきましては、この展示開催を貴媒体にてぜひ多くの方々にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

「伝統の桜草」展示解説会のご案内

4月7日(火) 11:00 ～ くらしの植物苑にて開催

当展示プロジェクト委員による展示解説を行います。事前予約等は必要ございません。
お名刺をご持参の上、受付で腕章をお受け取りになり、ご入苑ください。

詳細につきましては下記【このリリースに関するお問い合わせ】までご連絡ください。

※関連イベントが変更・中止される場合があります。最新の情報については、ホームページ等でご確認ください。



【このリリースに関するお問い合わせ】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 広報課 広報・普及係 石渡・田川・高木
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117

TEL 043-486-6488 (直通), FAX 043-486-4941, E-mail:koho@ml.rekihaku.ac.jp

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp> (※週2回更新、最新情報はこちらをご覧ください)

※内容は変更する場合があります。ご了承ください。

趣 旨

当館くらしの植物苑では、2002年より「伝統の桜草」と題して、桜草の展示を行ってきました。

「伝統の桜草」とは、江戸時代中期以降（江戸・明治・大正・昭和）、園芸家によって野生株の中から変わった花が探し出され、多くの品種が作り出されてきた一連の桜草を指します。花の色は薄紅色や紫色、白色など、花の形も平咲からつかみ咲までとさまざまです。こうした多様な花色・花形の桜草を展示するとともに、2003年に寄贈された桜草花壇によって伝統的な観賞方法を再現するなど、展示方法も工夫しています。併せて、2007年に収集した八重咲の品種や2010年に収集した野生系の品種、2013年から2015年にかけて収集した現代の新花も展示します。

また、今年度は『櫻草作傳法』という近世後期に記された桜草についての著作から、桜草の栽培法としての土の作り方や使用する鉢、栽培に適したエリアなどに焦点をあて、パネルで紹介します。

主な展示内容

展示する桜草は主に鉢植えで、1鉢に4芽、各品種2鉢ずつ用意し、桜草花壇、東屋周囲、ハウス2棟、よしず展示場で展示を行います。

桜草花壇には、江戸時代に作出された品種を主に展示します。また、近年作出の八重咲の品種、野生系の品種、現代の新花の展示コーナーを設けます。その他にもプランターなどに植えて東屋周囲に展示します。

- 出展品数 計 約 400 品種
- 出展鉢数 約 700 鉢

※生育状況により出展数は変わる場合があります。



概 要

※内容は変更になる場合があります。

企 画 名 称	くらしの植物苑特別企画 季節の伝統植物 「伝統の桜草」
主 催	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
会 場	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117
開 催 期 間	2026年4月7日(火)～4月30日(木) ※苑内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開苑日・開苑時間等の変更、各種催し物を延期または中止する場合があります。 最新の情報は館のホームページ及びSNSでご確認ください。
休 苑 日	4月13日(月)・20日(月)・27日(月)
開 苑 時 間	9:30～16:30 (入苑は16:00まで)
料 金	個人200円、団体100円 ※4月29日(水・祝)は「歴博みどりの日」で入苑無料です。 ※高校生以下・18歳未満の方は入苑無料です(年齢の分かる証明書等をご提示ください)。 ※団体は20名以上です。 ※障がい者手帳等保持者は手帳等のご提示により、介助者とともに入苑無料です。 ※博物館の総合展示・企画展示は別途料金がかかります。 ※博物館の半券の提示で、当日に限りくらしの植物苑にご入場できます。 また、植物苑の半券の提示で、当日に限り博物館の入館料が割引になります。
お 問 い 合 せ	ハローダイヤル 050-5541-8600
公 式 サ イ ト	https://www.rekihaku.ac.jp

関連イベントのご案内

【**くらしの植物苑観察会**】 苑内にて開催、要入苑料、事前申込不要
第 320 回 『櫻草作傳法』を読む－栽培法を中心に－ 講師 水田 大輝（日本大学）
日 時 4月25日（土）13:30～15:30

【**桜草の有償頒布のご案内**】 苑内にて開催、要入苑料
日 時 4月7日（火）～4月30日（木） 9:30～12:00
※4月13日（月）、20日（月）、27日（月）は除く
※4月7日（火）のみ 9:30～10:30
※4月29日（水・祝）のみ 9:30～15:00

⚠ 期間内であっても、提供できる在庫がなくなり次第頒布を終了します ⚠

次回予告

くらしの植物苑特別企画 季節の伝統植物「伝統の朝顔」
2026年8月5日（水）～8月30日（日） 9:30～16:30（入苑は16:00まで）
※8月10日（月）～8月16日（日）は8:30開苑

国立歴史民俗博物館
くらしの植物苑（佐倉中学校となり）
9:30～16:30（最終入苑 16:00）
くらしの植物苑は、生活文化を支えてきた植物を系統的に植栽し、その理解をより深めることを目的として、博物館の南東に位置する旧佐倉城の一画に開設された自然を生かした植物苑です。特別企画に加え、「くらしの植物苑観察会」なども開催しています。

アクセス：
【京成電鉄・JR東日本利用の場合】
佐倉駅からバスで「宮小路町」か「国立歴史民俗博物館」下車徒歩10分
【自動車利用の場合】
東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分
佐倉中学校隣り（無料駐車場完備）*カーナビの目的地は「佐倉中学校」で検索してください



広報画像の提供について

ご希望の写真を送付いたしますので、プレスリリースの画像番号をご連絡ください。
画像（JPEG）はメールで送信いたします。
問い合わせ先は本リリース1ページ目の【このリリースに関するお問い合わせ】をご覧ください。

<広報画像使用に際しての注意事項>

- 本特別企画広報目的でのご使用に限ります。（展示期間終了まで）
- 展覧会名、会期、会場名、掲載図版のキャプションを必ず掲載してください。
- 資料画像は全図で使用してください。文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。部分使用については事前申請・許諾が必要です。
- Web上に掲載する場合は、72dpi以下の解像度にしてください。
- 転載、再放送など2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認のため、校正紙（Web上の場合は掲載URL）をメールにてお送りください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌（もしくは掲載面PDF）・同録DVDを、1部郵送願います。

広報画像リストは次ページをご確認ください。

－くらしの植物苑の桜草花壇－

天保年間（1830～44）の写本と伝わる「櫻草作傳法」に書かれている桜草花壇（組立小屋の中に5段の棚を設けた花壇）を基に復元された、伝統的な観賞法（2003年に寄贈）。この花壇では、江戸時代に作出された品種を主に展示します。



1. 桜草花壇



2. 野生系の品種展示（風景）



3. 玉川／たまがわ
（園芸種）



4. 松の雪／まつゆき
（園芸種）



5. 日の丸／ひのまる
（園芸種）



6. 駒止／こまどめ
（園芸種）



7. 小桜重／こざくらがさね
（園芸種）



8. 桃の舞／もものまい
（園芸種）



9. 御目見得／おめみえ
（園芸種）



10. 落葉衣／おちばごろも
（園芸種）



11. 流れ星／ながれぼし
（園芸種）